

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和6年11月22日(2024.11.22)

【公開番号】特開2024-136399(P2024-136399A)
 【公開日】令和6年10月4日(2024.10.4)
 【年通号数】公開公報(特許)2024-186
 【出願番号】特願2023-47509(P2023-47509)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 5 1

A 6 3 F 5/04 6 1 1 Z

【手続補正書】

【提出日】令和6年11月14日(2024.11.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像表示手段と、

識別情報を変動表示可能な変動表示手段と、

を備え、

前記画像表示手段は、

遊技者の所定操作に応じて離席状態である旨を示す離席画像を表示可能であり、

前記変動表示手段による変動表示が行われていないときに前記離席画像を表示可能であり、

前記離席画像の表示開始からの経過時間を表示可能である

30

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、このような遊技機では、例えば、突然遊技不能となったことへの苛立ちを遊技者に抱かせてしまう虞や、打ち止め状態となっていることに気付いていない遊技者に対して遊技機が故障したのではといった誤解を抱かせてしまう虞があった。また、遊技店の店員にとっても、打ち止め状態となるタイミングが近づいていることを把握し難いため打ち止め状態となった遊技者に対するサポートを十分に行うことができない虞があった。また、遊技者が一時的に離席した際に、他の客がよく確認せずに空き台であると認識して遊技してしまうといったトラブルが生じることがあった。

40

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

50

本発明は、このような点に鑑みてなされたものであり、離席中の台が空き台と誤認されることを抑制でき、トラブルの発生を抑制できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

画像表示手段（例えば、表示装置 3051）を備え、

識別情報を変動表示可能な変動表示手段（例えば、リール 3L, 3C, 3R）と、

を備え、

前記画像表示手段は、

遊技者の所定操作（例えば、演出用ボタンを操作）に応じて離席状態である旨を示す離席画像を表示可能であり、

前記変動表示手段による変動表示が行われていないときに前記離席画像を表示可能であり、

前記離席画像の表示開始からの経過時間を表示可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記構成によれば、離席中の台が空き台と誤認されることを抑制でき、トラブルの発生を抑制できる。

10

20

30

40

50